

平成24年度第55回福島県中学校体育大会 体操競技大会要項

- 1 主催 福島県中学校体育連盟 福島県教育委員会 福島市教育委員会
福島県中学校長会 財団法人福島県体育協会 福島県体操協会
- 2 後援 福島市
- 3 主管 県北地区中学校体育連盟
- 4 期日 平成24年7月22日(日)～24日(火)

22日(日)	監督会	12:30～	国体記念体育館メインアリーナ
	開始式	13:30～	〃
23日(月)	審判会議男子	8:20	〃
	〃女子	12:00	〃
	競技	8:52～	〃
	(男子規定、女子自由2種目)		〃
24日(火)	競技	8:30～	〃
	(男子自由、女子自由2種目)		〃
	閉会式	15:00～	〃
- 5 会場 福島市国体記念体育館(福島市仁井田字西下川原44-1)
- 6 参加資格 (1) 福島県中学校体育連盟に加盟の学校に在学する生徒。
(2) 団体は16チーム以内の場合オープン(1校1チーム)とする。
個人は各地区6名以内とし予選会を通過し、校長が参加を認めた者。
- 7 引率・監督 (1) 参加生徒の引率者・監督は出場校の校長・教員とする。
(2) 監督は学校ごとに1名とし、必ず監督会議に出席すること。
(3) コーチは、個人選手1名につき1名まで、団体は1チーム1名までとし、同じコーチが複数の学校を兼ねることができる。
区分 外部コーチ・・・校長が学校部活動の指導者として承認した者で、日常的に学校部活動の指導にあたっている者。
校外コーチ・・・クラブ等の指導にあたっている者。
- 8 参加人員 (1) 団体は1チーム7名(選手4名、補欠2名、チームリーダー1名)
(2) 個人は各地区から男子6名、女子6名とする。
(3) 個人は団体の補欠を兼ねることはできる。(個人選手に欠員が出ても繰り上げ出場はしない)
(4) 外部・校外コーチは出場校の校長の承認を得た者とし、大会事務局にコーチ確認書を提出する。ただし、当該校以外の中学校の校長・教員の外部コーチとしてのベンチ入りは認めない。
- 9 競技規則 (1) 日本体操協会制定男子採点規則2009年度版中学男子適用規則を適用。
(2) 日本体操協会制定女子採点規則2009年度版変更規則I。
(3) 男子規定演技は、男子体操競技ジュニア規定レベル1(2005～)・平成22年度東北ブロック地域対応版適応)を適応。
(4) 日本体操協会制定競技規則最新版(日本中体連体操競技部遵守事項を適用)
- 10 競技方法 (1) 団体…男子：3種目(ゆか・跳馬・鉄棒)の規定、自由演技の合計点とする。ただし、あん馬の規定・自由演技を行えば個人選手権と兼ねることができる。
女子：3種目(跳馬・平均台・ゆか)の自由演技の合計点とする。ただし、段違い平行棒の自由演技を行えば個人選手権と兼ねることができる。
(2) 個人…男子：4種目(ゆか、あん馬、跳馬、鉄棒)の規定・自由演技の合計点
女子：4種目(跳馬、段違い平行棒、平均台、ゆか)の

自由演技の合計点

(3) 種目別…男子：各種目の規定・自由演技の合計点

女子：各種目の自由演技の得点

(4) 男子は、2日目規定演技を予選会とし、団体6チームおよび団体メンバーを除いた上位個人8名が3日目の自由演技に進むことができる。

11 使用用具 使用器具については、開催会場によっては最新のものでない場合もある。

12 表彰 (1) 団体総合 1位～3位にメダルと賞状を授与する。
(2) 個人総合 1位～3位にメダルと賞状、4位～8位に賞状授与する。
(3) 種目別 各種目1位～3位に賞状を授与する。

13 参加料 1名 1,000円とする。

14 参加申込 (1) 各学校は、参加申込書一式、参加料、参加記念章代、プログラム代を地区中体連専門委員長へ一括申し込む。
(2) 各地区中体連専門委員長は、各校からの申込書類ならびに現金を確認の上、県競技部事務局へ提出する。
(3) 県競技部事務局は、抽選会時に申込書類ならびに現金を集約する。

15 宿泊 (1) 大会に参加し宿泊を要する出場校は、適切な危機管理対応(感染症・自然災害等)を確保するため、宿泊申込書を必ず開催地大会事務局指定の業者に提出する。(指定外の宿泊施設の利用は、原則として認めない。)
(2) 大会役員は大会事務局、競技役員は配宿は、競技事務局で行う。
(3) 宿泊料金は、平成24年度福島県スポーツ団体標準宿泊料金表中学生による。

16 その他 (1) 開始式・閉会式には、選手全員が参加することを原則とする。
(2) プログラムは有料とし、1冊800円で販売する。
(3) 参加記念章は、1個350円で販売する。
(4) 選手の交代は団体選手に限り、申込書に記載された補欠選手のみ行うことができる。申告は所定の用紙に記入し、監督会議に総務に提出する。
(5) 音楽伴奏はMD等を使用し、伴奏用音楽器具を持参すること。
(6) 選手はそれぞれの学校を示すマークを付けて出場しなければならない。
(7) ゼッケンは各学校で準備すること。縦10cm横15cm以上の白布に男子は黒、女子は赤でゼッケン番号を記入し、ユニホームの背中にしっかりと縫いつける。
(8) 競技中アリーナへの入場は、選手・監督・チームリーダー・音楽係・役員・審判・体操競技のコーチのみとする。
(9) 写真・ビデオ撮影については許可制とする。必要な場合は各地区専門部委員長に申し出る。各地区専門部委員長は、許可者にIDカードを配布、回収する。(要返却)
(10) 外部・校外コーチは、参加申込時に確認書を提出する。許可者にIDカードを配布する。(要返却)
(11) 東北大会への出場について
団体：男女とも上位2チームとする。
個人：男女とも東北大会出場団体2チームのメンバーを除いた上位4名とする。
(12) 大会期間中の負傷・疾病については、応急処置のみ実施する。大会参加者は、健康保険証を持参することが望ましい。
(13) 得点記録用紙は配布しない。

17 連絡先 県・開催地区専門部委員長 大和田敏夫(福島四中：024-535-4240)